

【現代語訳】

(後略) 右の者たちは心から願うことがあり、相模国の大山不動尊へ参詣に出かけますので、どうか御慈悲で御番所をお通しください。

(中略) 一通の証文を差し上げます。

計一〇人

【内容解説】

通行人を監視する番所の役人に提示して通行許可を求める文書です。前半には大曾根村 10 人の名前、後半には旅の目的が大山参詣であることなどが記載されています。

近世には物見遊山も兼ねた寺社参詣が流行しました。大山は、^{あふり}雨降山とも呼ばれて雨乞いなどの祈願の対象となり、山頂に^{せきぞん}石尊社、中腹に不動堂がありました(現神奈川県伊勢原市)。15 歳前後に大山参詣する風習もありました。

この文書が作成された当時は幕末の動乱期で、京都では池田屋事件や禁門の変が発生し、関東は天狗党の乱の渦中にありました。「御番所」は、幕末に新設された千住の御番所などが該当する可能性があります。

☞第 20 回企画展「八潮からの旅」パンフレットもご覧ください。

関連情報のご案内 (QR コードからアクセスできます)

資料館常設展示

紹介した古文書の実物を展示しています。このほかに徳川家康が江戸幕府を開いた慶長 8 年(1603)の年貢割付状(伊奈忠次筆)、市指定文化財の検地帳、農間余業に関する古文書なども展示しています。

☞詳しくは、八潮市ホームページの「八潮市立資料館」—「展示」—「常設展示」をご覧ください。



資料館講座

資料館では、古文書(くずし字)の解読方法を学ぶ講座や、古文書などの資料を紹介して歴史を解説する講座を開催しています。

☞資料館講座の開催予定については、八潮市ホームページの「八潮市立資料館」—「講座・イベント」—「資料館講座」をご覧ください。



『れきナビーやしお歴史事典』の講座

『れきナビーやしお歴史事典』は、八潮市立資料館が運営するウェブサイトです。『れきナビ』講座には「くずし字にチャレンジ!」があり、くずし字の問題(古文書の画像)と解答(翻刻)を掲載しています。



※紹介した古文書は、平成 30 年度に開催した「初心者のための古文書講座 幕末・維新期の古文書を読む」のテキストです。